

食生活改善推進

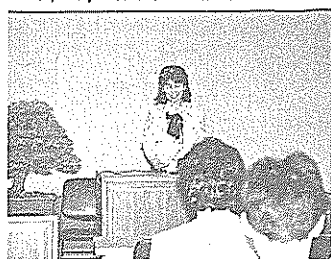
教室が開講

三十四人が推進員目指す

第五回食生活改善推進教室の開講式が、五月十九日に市役所の大会議室で、受講生など約五十人が出席して開かれました。

これは、正しい食生活を地域に広める食生活改善推進員を育成し、健康づくりを進めようと昭和五十九年から実施しているもので、今年には三十四人が受講、食生活改善推進員を目指します。

式開講教室推進改善生活食市南国



受講生代表のあいさつ

消費者月間にちなんで、五月十七、十八日の両日、市役所玄関で、消費生活パネル展と、県立消費生活センターの職員による相談会が行われました。

これは、消費者にしっかりとした知識を身に付けてもらい、消費者の自立を図ろうと、県立消費生活センターと市が実施したものです。

昨年度に南国市からセンターに寄せられた苦情は九十二件、悪徳

悪徳商法に 気をつけて 消費生活パネル展

で、地域の役に立てるようしっかりと勉強したい」とあいさつ。

引き続き第一回目の日程に入り、吉田中央保健所長が「成人病の予防について」と題して講演を行いました。その後中野中央保健所栄養班長が「食生活改善推進員とは」と題してその役割や教室の内容などについて説明。参加者はメモを取りながら熱心に受講していました。

商法による被害も多く見られます。センターの職員は、「業者の対応に誠意が見られない場合が多い。消費者ももう少し勉強してもらいたい。また、おかしいと思ったらすぐ消費生活センターに相談してほしい」と話していました。

会場には、悪徳商法や健康食品など、苦情の多い問題に関するパネル三十点余りが展示され、市役所を訪れた人は、興味深げに眺めていました。



センターの職員による相談コーナーも設けられた

後免野田小で

性教育公開授業



模型を使って説明

県下では珍しい性教育公開授業が五月二十日、後免野田小学校で六年生の児童を対象に行われました。

これは、同校のPTAの皆さんが、子供たちにどのように性教育を行っていったらよいかを学ぶうと性教育の実践家として有名な教育評論家の北沢杏子氏を招いて実施したものです。

授業では、男女の性徴の違いや赤ん坊のできるしくみなどを図を使って説明、子供たちに「生命の大切さや男女が互いに認め合うことの大切さ」などを説きました。

引き続き講演を行いました。そのなかで北沢氏は性教育の大切さを説明。子供と大人の考え方に現在大きな隔たりがあることを挙げ、「市でカリキュラムを作って

四国横断自動車道 南国―伊野間の 事業説明会

四国横断自動車道第十次計画(南国―伊野間)の建設に伴う現地測量などのための地元説明会が五月十九日から二十五日までの四回にわたって開かれました。

今回調査が行われる南国―伊野間は徳島県阿南市から愛媛県大洲市に跨る四国横断自動車道四五一ののうち南国インターチェンジから伊野町枝川までの約一七・八キロ。初回の十九日は笠の川公民館で開かれ、地権者などの関係者六十人余りが出席しました。会ではまず、日本道路公団側が路線などの概要や立ち入り調査時の補償問題について説明、続いて出席者との質疑を行い、関係者の事前調査に対する理解と協力を求めました。